

発行所
東海愛知新聞社
〒444-0852 岡崎市南明大寺町12-8
電話 0564-51-1015
FAX 0564-51-1018
E-Mail tokai-a@m2.catvics.ne.jp
http://home1.catvics.ne.jp/~tokai-a/

涼を追求し改良

西尾 折りひだ入りマスク
編み物会社

作業用手袋製造を主力とする石川メリヤス(西尾市吉良町、大宮裕美社長)が、「編み」の技術を活用し、折りひだ入りのニット(編み物)マスクを製造、販売している。「涼」を追求して開発。六月上旬に販売し始めたところ、注文が殺到しているという。

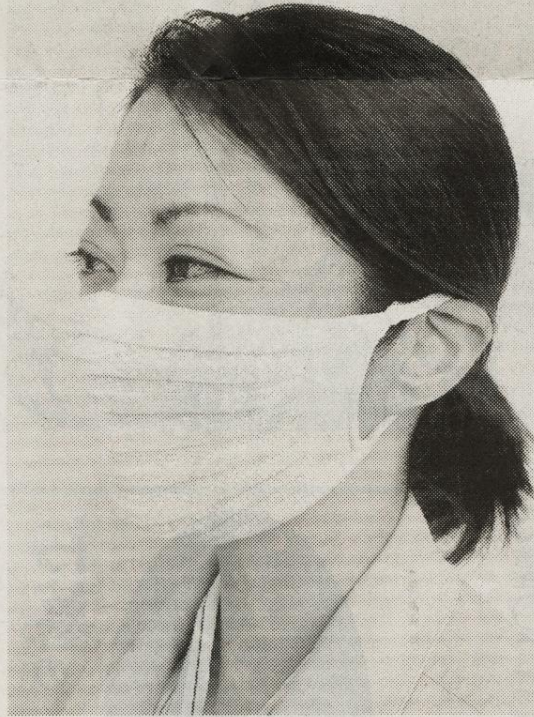
同社は、三月中旬に折りひだのないニットマスク(綿と絹の二種類)の販売を始めた。耳に掛けるひもの部分を含めて一体的に編む立体型で、縫い目がないことから肌当たりが良く好評だった。しかし、同社で外回りをする従業員が気温上昇とともに「暑い」と

と言って自社マスクを外すようになった。これを見た大宮社長が涼しさを意識したマスクの改良を決意。五、六年前に流行したスノー

ド(輪状の首巻き)で使用した生地凹凸が出る編み方を採用し、ニットマスクに折りひだを入れた。マスクと肌の接触面積を減らすことで、息苦しさや不快感の軽減につながった。「改良版」の生地には吸湿性、放湿性に

優れている絹を使用。従来の生地二枚重ねから一枚にした。繰り返し洗っても折りひだは崩れないという。一枚千六百五十円。サイズはS、M、Lの

三種類。内側の鼻に当たる部分には、サイズ別に色が付いている。主にオンラインショップ



好評の折りひだ入りニットマスク＝西尾市吉良町で

プ(同社ホームページからアクセス可)で販売中。問い合わせは、同社(0563-32-0420)へ。